

傾城阿波の鳴門

# 十郎兵衛内の段

徳島に残してきたはずの娘おつると、母親のお弓の  
出会いと別れのシーンが「順礼歌の段」。  
後半の「十郎兵衛内の段」では、父親の十郎兵衛が  
娘とは知らず、誤っておつるをあやめてしまう。  
あの時おつるを帰さなかったらと嘆くお弓。  
これでもか、これでもかと追い詰めることによって  
登場人物の性根をあぶり出そうとする浄瑠璃。  
十郎兵衛と捕り手の人形のチャンバラシーンなど  
人形芝居ならではの面白さも存分に楽しめます。

2019  
**2/16** **土**  
15:20~16:00

人形浄瑠璃とくしま座レクチャー&公演  
太夫／佐々木なるみ  
三味線／竹本友和嘉  
人形／人形浄瑠璃とくしま座

**徳島県立阿波十郎兵衛屋敷**

徳島市川内町宮島本浦184  
Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683

入場料 一般410円、高・大学生300円、小・中学生200円

主催 徳島県地域伝統文化総合活性化委員会、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷  
14:00~定期公演「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」も併せてご覧いただけます。

 平成30年度文化遺産  
文化庁 総合活用推進事業